

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
音楽科指導法 Teaching Methods of Music	児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	前期
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等		
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名
			山崎 凱千
講義	2	必修	担当形態
			単独
全体目標及び概要			
<p>学習指導要領における小学校教科音楽の目標を概説し、音楽教育の現状と問題について考察する。 指導案の作成方法を学ぶことにより授業展開の方法を学ぶ。 模擬授業を演習実習し、実践的な技能の伸長を図る。</p>			
一般目標及び到達目標			
<p>(1) 生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す指導計画を立案する研究をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、児童の主体的・対話的で深い学びの実現が図れるような計画を立てられるような配慮ができる。 2) 校内・校外の諸行事を見通して、長期的指導計画を立てることができる。 3) 他者との協働を尊重し合いながら、表現する音楽を模索し合う過程を大切にす指導計画を考えることができる。 <p>(2) 生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す授業展開を考察する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 他教科等との関連を積極的に図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけ、豊かで幅広い授業展開ができるよう工夫した計画ができる。 2) 指導のねらいに即して身体を動かし表現させたり、情報機器や教育機器の活用方法を模索したりし、深く多様で幅広い体験をさせる授業展開を考えることができる。 3) 自分たちが作った曲を大切にさせることにより、著作者の創造性を尊重し、音楽文化の継承、発展、創造を支える素地になることに気がつく展開を考えることができる。 <p>(3) 音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す指導案の作成を模索する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 題材、題材研究、題材設定の理由を、多岐にわたり精査することができる 2) ねらい、展開、振り返り等授業展開のあり方を学ぶことができる。 3) 他者の模擬授業を評価することにより、自分自身の授業の指導案作りの参考にできる。 			

授業内容と進め方		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	学習指導要領「音楽」の概説・音楽科教育の目標	(1)、(2)、(3)
2	年間指導計画の立案の考え方	(1) - 1)、- 2)、- 3)
3	歌唱共通教材の授業展開の考え方	(2) - 1)、- 2)、- 3)
4	指導案の作成① 目標、概念	(3) - 1)、- 2)、- 3)
5	歌唱共通教材模擬授業① 1年「うみ」「かたつむり」 「日のまる」	(2) - 1)、- 2)、- 3)
6	指導案の作成② 題材、題材研究、題材感	(3) - 1)
7	歌唱共通教材模擬授業② 1年「ひらいたひらいた」 2年「かくれんぼ」「春がきた」	(2) - 1)、- 2)、- 3)
8	指導案の作成③ 題材の指導計画	(1) - 1)、- 2)、- 3)
9	歌唱共通教材模擬授業③ 2年「虫のこえ」 「夕やけこやけ」 3年「うさぎ」	(3) - 1)、- 2)、- 3)
10	指導案の作成④ 本時の目標、ねらいの設定	(3) - 2)
11	歌唱共通教材模擬授業④ 3年「茶つみ」「春の小川」 「ふじ山」	(3) - 1)、- 2)、- 3)
12	指導案の作成⑤ 授業展開の方法	(2) - 2)
13	歌唱共通教材模擬授業⑤ 4年「さくらさくら」 「とんび」「まきばの朝」「もみじ」	(3) - 1)、- 2)
14	指導案の作成⑥ まとめ、ふりかえり、評価	(3) - 2)、- 3)
15	歌唱共通教材模擬授業⑥ 5年「こいのぼり」「子守歌」 「スキーの歌」「冬げしき」	(2) - 1)、(3) - 2)
成績評価 方 法	指導案作成(思考・判断) 50%、 模擬授業(準備・表現・技能) 30% 他者模擬授業評価レポート(知識、判断) 20%	
テキストおよび 参 考 文 献	音楽科教材研究(山口短期大学) 初等科音楽教育法・小学校教員養成課程用(音楽之友社)	
メ ッ セ ー ジ な ど	教育現場に通じる指導法を会得するために指導案の作成をし、実際の授業を模擬体験してみる。音楽の実力が必要であることはもちろんであるが、他者の模擬授業を評価することなどをおし、さらなる資質のレベルアップを図りましょう。	